

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 中間評価

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	佐賀市立高木瀬小学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<p>・中間評価では、14項目のうち高評価となった。中間評価での取組反省を生かして、現状を変えようとする教職員の意識化と具体的な改善（強化）策が図られたためと、学校生活ではある程度達成できている「自主学習」「履物そろえ」が、家庭生活ではなかなか実践できていない。また、相手を尊重した「さん付け」は、児童・保護者とも評価が低い傾向にあった。学校での取組内容について、より多く・より詳しく保護者に対して情報発信を行い、理解と協力を得ることが必要である。今後は「いつで考える。提案する部会単独での努力ではなく、チームとして全職員が取り組むことの大切さを実感できた。</p> <p>・本校の特色である「無言・無音掃除」「高小流あいさつ」は、良さ伝統・習慣として定着している。また、佐賀市人権・同和教育の実践交流会の研究校として進めてきたが、児童同士が相互理解を深めるような活動を仕組んだり指導をしたりしたことで、児童の自己肯定感の向上に大きな成果を得ることができた。</p> <p>・学校生活ではある程度達成できている「自主学習」「履物そろえ」が、家庭生活ではなかなか実践できていない。また、相手を尊重した「さん付け」は、児童・保護者とも評価が低い傾向にあった。学校での取組内容について、より多く・より詳しく保護者に対して情報発信を行い、理解と協力を得ることが必要である。</p>
------------------	--

2 学校教育目標	<p><b>個性と創造性に富む子どもの育成</b></p> <p>～「時を守り 場を清め 礼を正す」をキーワードに～</p>
----------	--

3 本年度の重点目標	<p>「郷土愛の育成」「ほめほめ活動の推進」「『時を守り 場を清め 礼を正す』の徹底」が本校の特色である。これらの特色をより強固にしなが、児童がこれからの時代を豊かに確実に生き抜くための資質・能力を育む。</p> <p>○「時を守る」・・・「時間を自己管理する」 ○「場を清める」・・・「誰もが気持ちよい環境をつくる」 ○「礼を正す」・・・「相手を尊重し、礼儀正しくする」 ○「時・場・礼」の基盤・・・「早寝早起き朝ごはん」「あいさつプラス1」</p>
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	主な担当者
---------------	------	--------	-------

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				●学力の向上	○現行学習指導要領の理念を理解し、実践することにより授業の向上を図る。	○校内研究に能動的に参加し、教師全員が学習課題を立て授業に臨むことができる。	・校内研究を充実し、現行学習指導要領の理念を理解する。 ・教師全員が学習課題を立て授業に臨む。		
○児童が自ら進んで学習活動に取り組む授業の実践	○「学びに向かうチェックリスト」を作成する。 ○[自律的に学習に取り組んでいる]を80%以上にする。	・「かつお週間」「筆箱週間」など、定期的に設け、集中的に取り組むことで定着化を図る。 ・学級通信などで成果と課題を発信することで家庭の協力を促す。							
○児童が自ら進んで取り組む家庭学習の充実	○「目的をもって家庭学習に取り組んでいる。」と答える児童を80%以上にする。	・「おすめの自学」を年2回発行する。 ・毎月、目的が意識された自学コメントを入れて掲示する。 ・保護者へ家庭学習の目的や効果的な取組み方について啓発を行う(年2回)。							
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	・児童の良い行いやがんばっていること等の「ほめほめタイム」で教師が5人以上紹介する。 ・全職員が輪番で各クラスに入り、いじめ・命についての話を する。 ・平和週間や人権週間の取り組みを通して、平和と人権を 守っていこうとする態度を育て、児童の考えや意見を提示す る。 ・毎月「こころのアンケート」を実施し、児童の心の状態を把握し、いじめの早期発見に努める。その記載内容に全て対応し、早期解決に努めると共に管理職への報告を行う。 ・気がかりな児童には個別の対応を継続し、毎月の生指相会議で職員間の情報共有を図る。						
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「友達と楽しく学校生活を送っている。」と答える児童を90%以上にする。							
	○無言・無音掃除の徹底	○児童が、「無言無音掃除」の必要性を十分に理解し、「話もせず音も立てずに掃除をしている。」と答える児童を、80%以上にする。	・掃除前に全校放送を行うことで、無言・無音掃除の意識付けを図る。 ・教師自ら掃除開始時刻の前に掃除場所に着き、始まりとともに児童と黙想をすることで、心を落ち着かせて無言・無音掃除をさせるようにする。						
●健康・体づくり	●「望ましい生活習慣の形成」	●「『早寝早起き朝ごはん』を意識して生活している。」と答える児童を休日を含め80%以上にする。	・すこやか点検表の項目に「10時をめどに就寝」「決めた時刻に起床」「朝食摂取」を入れ、長期休業前後を中心に実施する。 ・保健便り、給食便り等で、早寝早起き朝ごはんの大切さを呼びかける。						
	○「運動習慣の改善や定着化」	●「『歩いて登校している』『よく運動したり、外で遊んだりしている』と答える児童を80%以上にする。	・学校だよりや学級通信で「歩いて登校する」ことの大切さを呼びかける。 ・体育の授業で運動の楽しさを体感させる。 ・スポーツチャレンジを推進する。						
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。	・年度中でも必要があれば業務の効率化を図る。 ・「成績2期制」を継続実施し、評価時期には約10日間の特別校時を設定する。 ・会議数(時間)や協議内容を精選するとともに、業務等の役割分担による教材・資料の共有化を進める。 ・リバーのメッセージ機能の活用を保護者に紹介する。 ・学年会で業務を分担したり、資料を共有したりする。						

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	具体的取組	進捗度 (評価)	進捗状況と見通し	達成度 (評価)	実施結果	評価	意見や提言
				◎志を高める教育「ほめほめ活動」	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたの良いところを認めてくれていると思う」と回答した児童生徒80%以上。 ●◎「将来の夢や目標を持っている」についての単発的な回答もした児童生徒90%以上。	・給食の時間に「ほめほめタイム」を実施し、全校児童を呼名してほめ合う。 ・ワークシートや作品、宿題などに、過程や意欲に対する肯定的なコメントを記す。 ・学級活動で必ずキャリアに関する指導を行う。		
○郷土愛を育てる活動	○佐賀や日本の導き手を育成するための地域(家庭)の協働意識の向上	○「学校は地域(家庭)と連携して、特色ある教育活動を行っている。」と答える児童を75%以上にする。	・地域やPTAとの連携を図り、参加・参画を依頼するとともに、児童が地域行事に参加しやすいように、地域やPTAからの情報を学校でも伝える。 ・職員も年間1回を目標に、PTA・地域行事(夏祭り・文化祭など)に参加・参画する。						
○人間形成の土台づくり	○「時を守り 場を清め 礼を正す」態度の育成	○「『時を守り 場を清め 礼を正す』に気を付けて生活している。」と答える児童を90%以上にする。	・朝の放送、昼の放送の時に、「時を守り、場を清め、礼を正す」という言葉を必ず入れて、常に児童に意識させる。						

●・・・県共通 ○・・・学校独自 ◎・・・志を高める教育

5 総合評価・次年度への展望	<p>・</p> <p>・</p> <p>・</p>
----------------	----------------------------